

# ロクハ公園デイキャンプの森で 焼きいもをつくろう！

## ①デイキャンプの森を借りてみよう

まずは、「ロクハ公園デイキャンプの森」の施設を予約しよう。  
詳しくは、草津市公園事務所・ロクハ公園ホームページ「デイキャンプの森」を見てね。

■デイキャンプの森 [http://www.park-698.net/day\\_camp/](http://www.park-698.net/day_camp/)

## ②準備物をそろえよう

■準備するもの（4人分・・・さつまいも4本分）

【燃料にするもの】・・・詳しくは「[焚き火の燃料をあつめよう！](#)」のページを見てね。

- ・新聞紙・・・1日分
- ・薪・・・10本～20本ぐらい
- ・枯れ葉・小枝・・・ビニール袋1枚がいっぱいになるぐらい
- ・細い枝・・・20本ぐらい

【かまどで使うもの】

- ・マッチ・・・1箱
- ・軍手（綿100%）・・・2つ
- ・バケツ（消火用）・・・1つ
- ・火バサミ・・・1つ（長めの Tongue でもOK）
- ・ほうき・ちりとり・・・1セット

※灰など釜戸の後始末をするためのもの。

【焼き芋】

- ・アルミホイル・・・1本
  - ・さつまいも・・・4本
- ※直径6cmぐらいの細長いもの。太くて大きなものは時間がかかり、燃料もたくさん必要になります。
- ・たわし・・・1個（さつまいもを洗います）
  - ・竹串・・・1本（焼き芋の出来具合を確認します。おはしでもOK）

※その他 あると便利なもの

- ・ハンドソープ　　・ウエットティッシュ
- ・ごみ袋　　・レジャーシート　　・タオル
- ・救急箱（傷テープや、火傷用の薬など。  
季節によっては、虫除け・虫刺されの薬なども）・・・



【デイキャンプの森 かまどの様子】



## ③焼き芋をつくろう！

- 1) たわしをつかって、さつまいもをよく水で洗います。
- 2) アルミホイルでさつまいもを包みます。一番上の3段目に、包んださつまいもをおきます。

- 3) 2段目に燃料を入れて、焚き火をし、さつまいもに火を通します。

（詳しくは「[材料を組んで火をつけてみよう](#)」のページを見てね！）

★火が強すぎると、さつまいもが焦げてしまいます。網の上に置いたさつまいもに、炎が当たるか当たらないか  
ぐらいの火加減に調整しましょう（写真）。また、ときどき火ばさみを使ってさつまいもを転がして、お芋全体が  
焼けるようにしましょう。

- 4) 20～30分たって、焼けたかな？と思ったら、さつまいもを竹串でさして、焼け具合を確認してみよう。

竹串がすーっとおったら、おいしい焼き芋のできあがり！

## おき火で焼き芋をつくろう！

焚き火をして、火が落ち着いてくると「おき火（まきなどが燃えて炭火のようになったもの）」ができます。火バサミで  
おき火を集めて、その中にアルミホイルで包んだ芋を入れておきます。30～40分おいておき、じっくり火を通  
すとおいしい焼き芋が完成！かまどで飯盒炊さんをしたり、ダッチオーブンで料理をしたときに、できたおき火で  
焼き芋をつくれれば、燃料も無駄なく使えるよ。

# 焚き火の燃料をあつめよう

はじめに火の燃料になる材料をさがそう。おちている枯れ葉や枝をあつめよう！  
あつめた材料を種類や大きさごとにわけておくとつかいやすいよ。

## いろいろな材料



### 新聞紙



1まいを2~4つくらいにちぎって、それを手でぎゅっとまらめてつかおう。

### 焚き付け用の枯葉など



スギやヒノキのはっぱ(はりみたいなカタチのはっぱ)や、まっぼつくりは、とってもよくもえるよ！

### 細い枝



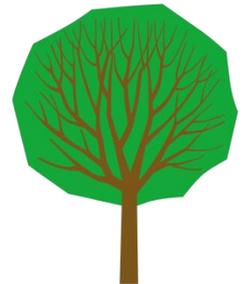
生きている木のえだをおったりしてはいけないよ！おちているえだをさがしてあつめてみよう！

### 針葉樹のまき



針葉樹は、はりのようなカタチをした先がとがった葉っぱがつく木のなかまだよ。広葉樹の薪とくらべると、かるくてやわらかいよ。火がつきやすくてよくもえるけれど、はやく燃えつきちゃうよ。

### 広葉樹のまき



広葉樹は、ひろくてひらべったい葉っぱがつく木のなかまだよ。針葉樹の薪とくらべると、かたくてずっしり重たいよ。火はつきにくいけれど、なが〜く燃えるよ！

## 「薪(まき)」について

- ・薪は、ホームセンターなどで購入できます。1束(20~30本入)で約600円です。ただし、薪ストーブを使用する季節に合わせて店頭で並ぶので、お店に置いていない時期もあります。
- ・お家の庭の木を剪定された枝なども、燃料として使用できますが、切ったばかりの木は水分が多いので、市販の薪より燃えにくく、煙がたくさん出て、扱いにくい場合があります。

# 材料を組んで火をつけてみよう

1



薪4〜5本くらいと、まるめた新聞紙、ひろった枝や葉っぱを交互に組み合わせてかまどに入れます。

2



細長くまるめた新聞紙の先にマッチで火をつけて、かまどの材料のなかに入れます。

3



はじめは、葉っぱや小枝、新聞紙がもえます。その火をうけて、薪もゆっくりと燃えはじめます。

まきだけで火をつけようとしても、  
じょうず  
上手にもえないよ！



新聞紙についた火で薪をもやしてみました。



新聞紙だけがもえて、薪がもえずにのこってしまいました。

火をよーく観察しよう！



いいかんじ！！



火がすこしよわいなと思ったら、葉っぱや枝をたしてみよう！



葉っぱや枝をいれすぎると、火が大きくなりすぎてあぶないし、材料がもったいないよ！

 火のまわりでは  
ぜったいにふざけない！ 

火傷をしたり、着ているものや、持っているものに、火が燃え移る可能性があります。とっても危険です！

 まきや火ばさみなどを  
ふりまわしたり、  
もったまま走ったりしない！ 

ほかの人にぶつかったり、こけてしまったりすると、とっても危険です！